iss phone 22 シリーズ

iss phone 22B
iss phone 22C

端末機器技術基準適合認定品
型 名 : FC757B1 電 話 機
FC757C1 電 話 機

取扱説明書

お使いになる前に
さあ、使ってみましょう
登録の操作をするとさらに便利に使えます
こんなこともできます
工事の方へ
そのほか、知っておきたいこと

認定番号 P97-0008-0（FC757B1 電話機）
P97-0009-0（FC757C1 電話機）

iss phone 22B
（FC757B1）

iss phone 22C
（FC757C1）

〒は本機が国の技術基準に適合していることを表しています。
このたびは「**iss phone 22B/22C**」をお買い求めいただき、ありがとうございました。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
なお、説明書は大切に保管してください。

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではございません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、弊社の担当営業までご相談ください。

この装置は、クラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

- この電話機システムは日本国内用に設計されています。電圧、電話交換方式の異なる海外ではご利用できません。
  This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本製品の故障、誤作動、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通話、録音、通話料金管理、FAX通信、データ通信、その他のサービスの利用ができなかったために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の設置および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本製品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- 本書の内容につきまして万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社窓口等へお申しつけください。
- 製品の改良のため仕様やデザインの一部を予告なく変更することがありますのでご了承ください。

目　次

ご使用上の注意

この取扱説明書について

この取扱説明書には、当製品を安全に使用していただくための重要な情報が記載されています。当製品を使用する前に、この取扱説明書を熟読してください。特にこの取扱説明書に記載されている「安全にお使いいただくために」をよく読み、理解された上で当製品を使用してください。また、この取扱説明書は大切に保管してください。

本書中のマーク説明

この取扱説明書ではお客様への危害や財産への損害を未然に防ぐために表示と図記号を使用しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

正しく使用しない場合、重傷を負うことがあり得ることを示しています。

正しく使用しない場合、軽傷、又は中程度の傷害を負うことがあり得ることと、当製品自身に損害が生じる可能性があることを示しています。

安全にお使いいただくために

通常使用時

- お茶､コーヒーなどをこぼしたりしないでください。火災､感電､故障の原因となります。
- 電話機を開けたり、分解したりしないでください。火災、感電、故障の原因となります。また、保証の対象にならないことがあります。
- この電話機には、殺虫剤、ヘアスプレー、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 電話機コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。火災、感電、故障の原因となります。

保守・点検時

- 内部の点検、修理はお買い上げの販売店に依頼してください。ご自分で行うと、火災、感電、故障の原因となります。
- 万一、煙が出る、変なにおいがした場合には、電話機本体から電話機コードを抜いて、煙が出なくなるのを確認してお買い上げになった販売店等へお問い合わせください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

取り付け時

- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり､倒れたりして､ケガや故障の原因となります。
- この電話機はＰＢＸ内線用電話機です。お取り付けには、取り付け工事が必要です。取り付け工事がお済みでない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。
- 共同電話、地域集団電話、公衆電話、高損失加入者用電話機及びＰＢＸの長距離内線には使用できません。

取り付け時

・送信所、無線設備近接地域では、ご使用になれない場合があります。その場合はお買い上げの販売店へご相談ください。

故障の原因となりますので、次のような場所でのご使用は避けてください。

・直射日光のあたる場所。
・極度に温度の高い場所、低い場所、温度変化の大きい場所。
・湿気やホコリの多い場所。
・ＯＡ機器や電化製品などに近い場所。

通常使用時

・この電話機は、モジュラジャック差し込み式ですので、コンセント間の移動は自由ですが、お話し中は移動しないでください。電話が切れてしまいます。
・クリップやホチキスの針などが電話機の中にはいらないようにしてください。

保守・点検時

・電話機に水滴がついたら乾いた布で拭き取ってください。放置すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。
・電話機が汚れたら、柔らかい布で乾拭きをしてください。ベンジン、シンナー等の有機溶剤は避けてください。電話機が腐食、溶解して火災、感電、故障の原因となることがあります。

廃　却　時

・法人、企業のお客様が本製品を廃棄・リサイクルされる場合は、「富士通事業系IT製品リサイクルサービス」をご利用ください。詳しくは下記のWebサイトをご覧ください。
http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html
・本製品は、お客様固有のデータを登録または保有可能な製品です。製品内のデータ流出等の不測の損害等を回避するために、本製品を廃棄（または譲渡、返却）される際には、製品内に登録または保持されたデータを消去する必要がございます。詳しくは、お買い求めになった販売店へお申し付けください。

iss phone 22B はこんなことができます！
iss phone 22C

ワンタッチダイヤル

《22Cのみ》

16ページ

特によく電話する番号があるとき、ワンタッチダイヤルに登録しておくとそのボタンを押すだけでかけられます。

シグナルチェンジ

20ページ

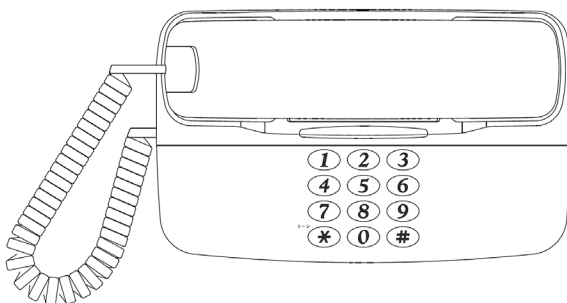
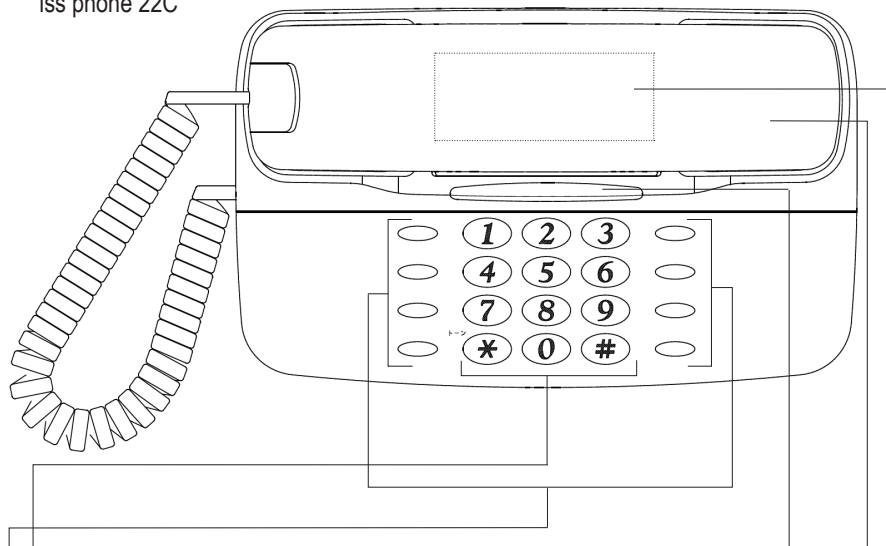
回転ダイヤル回線でも、航空券の予約や銀行の預金残高照会などのプッシュホンサービスを受けることができます。

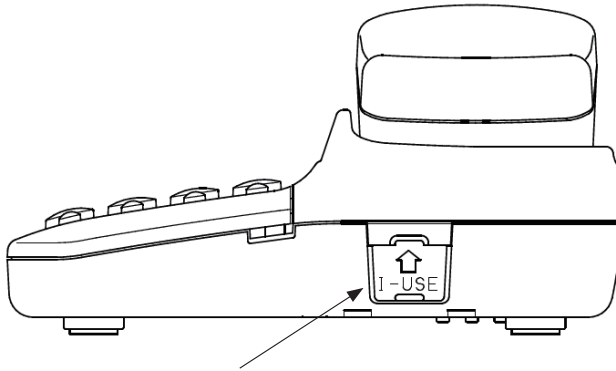
ニューリダイヤル

15ページ

電話をかけた相手が話し中のとき、もう一度再呼ボタンを押すだけでリダイヤルできます。（一度電話を切る必要がありません。）

各部の名称とはたらき

電話機前面

受話器	相手と通話するときに使います。
記名紙	ご自分の電話番号やワンタッチダイヤル（22Cのみ）の宛先を記入します。
着信ランプ メッセージランプ	電話がかかってくると点滅します。 フロントからメッセージがあると点滅します。
ダイヤルボタン	電話をかけるとき、また各種の設定や登録をするときに使います。(＊)はシグナルチェンジを行うときにも使います。
ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙﾎﾞﾀﾝ（22Cのみ）	ワンタッチダイヤルに登録するとき、また登録した番号に電話をかけるときに使います。

電話機側面

ブランチ用モジュラジャック

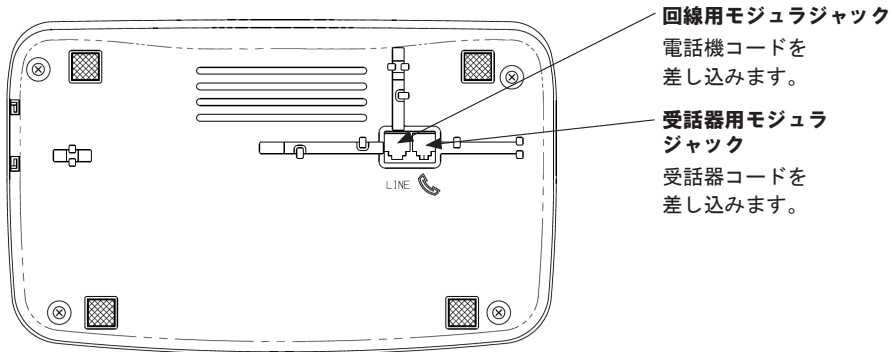
ブランチでご使用になるとき他の電話機のコードを接続します。
同一回線に接続できる電話機は、中大容量PBXが3台以下、小容量PBXが2台以下です。同時使用はできません。また、電話機をダイヤルしたとき、まれに他の電話機のベルが鳴る場合がありますが、故障ではありません。

電話機裏面

回線用モジュラジャック

電話機コードを差し込みます。

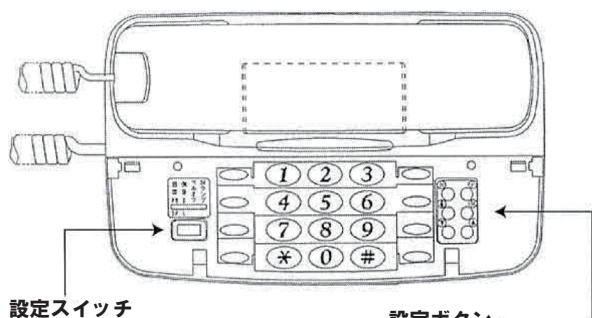
受話器用モジュラジャック

受話器コードを差し込みます。

本書に記載している「小容量PBX」と「中大容量PBX」は以下の機種を示しています。
※小容量PBX ： ES200シリーズISS全機種、CS100、CM50、
IP Pathfinder RM10S GSMシリーズ、IP Pathfinder S
※中大容量PBX ： IP Pathfinder全機種(IP Pathfinder S、RM10S SSMシリーズは除く)、
ES3300i-force全機種、E-350、ES3900シリーズCCS全機種

パネル内部

パネルの取り外しかた

①先の尖ったものを両側面中央部の溝に差し込み、パネルを外します。

②パネルを外しますと右側に設定ボタン、左側に設定スイッチがあります。

設定スイッチ
各種設定を行います。
(P.22参照)

設定ボタン
各種登録・調整を行います。
(下図参照)

転送/フックボタン
他の内線電話に転送するときに使います。

再呼/ポーズボタン
最後に電話した相手にかけ直すときに使います。また、ワンタッチダイヤルにポーズを登録するときに使います。

呼出音色ボタン
呼出音が鳴っているときに呼出音の音色を切り替えることができます。
(8段階)

登録ボタン
各種設定、ワンタッチダイヤルを登録するときに使います。

呼出音量ボタン
通話中に、相手の声の大きさを調整できます。
呼出音が鳴っているときに、呼出音の大きさを調整できます。

電話をかけるには
（発信／ニューコール）

※ニューコールの操作は、「ニューコール機能あり」の設定が必要です。（P. 24参照）
初期値の設定は、「ニューコール機能なし」です。

操作（内線へ電話をかけるとき）

1 **受話器**を取ります。

「ツーツーツー」という内線発信音を確認して

2 相手番号○……○を押します。

3 相手が出たら話します。

操作（局線へ電話をかけるとき）

1 **受話器**を取ります。

「ツーツーツー」という内線発信音を確認して

2 局線の発信番号「**たとえば0**」を押します。

「ツー」という局線発信音を確認して

3 相手番号○……○を押します。

4 相手が出たら話します。

〈ニューコール〉 一度お話が終わり、すぐに次の電話をかけたい場合、**転送／フック**ボタンを２回続けて（約 0. 2 秒以内に２回もしくは約 2 秒以内に２回）押すと、受話器を戻さずに次の発信をすることができます。
（パネルを外したときのみ使用できます。）
※パネルの外しかたは P. 10 をご覧ください。
ニューコールの設定は、「設定について（P. 24）」をご覧ください。

電話がかかってきたとき
（着信）

操作

呼出音が鳴ります。

■着信ランプ点滅

受話器を取って話します。

メッセージランプが点滅していたら

●メッセージランプは、フロントからお客様へ伝言があるときに点滅します。
そのとき、呼出音は鳴りません。

1 **受話器**を取ります。

メッセージ受け取り番号○○を押します。

通話中の相手を他の内線へ転送するとき
（転送）

※この機能は、パネルを外したときのみ使用できます。
（パネルの外しかたは、P.10をご覧ください）

操作

通話中に

転送／フックボタンを押します。

「ツツーツツーツツー」という内線発信音を確認して

転送先の内線番号〇……〇を押します。

転送先の相手が応答したら

受話器を置きます。

- 転送先がお話し中だったり、ダイヤルを間違えた場合には、もう一度**転送／フック**ボタンを押すことによって元の通話に戻ります。
- 再び転送する場合には、最初からやり直してください。
- **転送／フック**ボタンを２回続けて（約0.2秒以内に２回もしくは約２秒以内に２回）押すと、電話が切れてしまいますので、ご注意ください。〈ニューコール〉
  ニューコールの設定は、「設定について (P.24)」をご覧ください。
  初期値の設定は、「ニューコール機能なし」です。

最後に電話した相手にかけ直すには（再呼／ニューリダイヤル）

こんなときに便利

- 電話をかけたが、お話し中でもう一度かけたいとき。
- 最後にかけた相手に聞き（言い）忘れがあるとき。

※この機能は、パネルを外したときのみ使用できます。
（パネルの外しかたは、P. 10をご覧ください）

操作

1 **受話器**を取ります。

「ツーツーツー」という内線発信音を確認して

2 **再呼／ポーズ**ボタンを押します。

3 相手が出たら話します。

〈ニューリダイヤル〉 相手がお話し中のときもう一度**再呼／ポーズ**ボタンを押すだけでリダイヤルできます。

リダイヤル番号を取り消すには

最後にかけた電話番号を消して、リダイヤルできないようにすることができます。

1 **受話器**を取ります。

2 **登録**ボタンを押します。

3 **再呼／ポーズ**ボタンを２回押します。

4 **登録**ボタンを押します。

登録ボタンは、パネルを取り外すと出てきます。（外しかたはP. 10参照）

5 **受話器**を置きます。

- リダイヤルできる番号は64桁までです。それ以上の桁数の場合65桁目以降は無視されます。
- 通話中むやみにダイヤルボタンを押したりしないでください。誤接続することがあります。
- 交換機によっては、この機能が使用できない場合があります。

ワンタッチで電話をかけるには
（ワンタッチダイヤル）

こんなときに便利

●特によく使う電話番号があるとき。

ワンタッチダイヤルに登録しておくと、そのボタンを押すだけでかけられます。（8宛先まで登録できます）

※この機能は22Bでは使用できません。

操作

ワンタッチダイヤルボタンに電話番号を登録するには

1 **受話器**を取ります。

2 **登録**ボタンを押します。

登録ボタンは、パネルを取り外すと出てきます。（外しかたはP. 10参照）

3 **ワンタッチダイヤル**ボタンのどれか1つを押します。

4 登録したい**電話番号**○……○を押します。

３～４の操作を繰り返せば、続けて別のワンタッチダイヤルボタンに登録できます。

5 **登録**ボタンを押します。

6 **受話器**を置きます。

●登録できる内容は、ダイヤルボタン０～９、＊、＃、ポーズ（再呼）、シグナルチェンジ（＊）、フック（転送）です。
●ワンタッチダイヤルで登録できる番号は、32桁までです。33桁以降の番号を入力しても無効です。
●登録中、10秒間何もしないと、登録が解除されます。
●ワンタッチダイヤルは、「セーブナンバーリダイヤル（P. 18参照）」にも使います。
●登録中は、交換機からの音（発信音など）が変化する場合もありますが、そのまま登録できます。

操作

ワンタッチダイヤルボタンで発信するには

1 **受話器**を取ります。

「ツーツーツー」という内線発信音を確認して

2 **ワンタッチダイヤル**ボタンのどれか1つを押します。

3 相手が出たら話します。

ワンタッチダイヤルボタンの電話番号を取り消しするには

1 **受話器**を取ります。

2 **登録**ボタンを押します。

登録ボタンは、パネルを取り外すと出てきます。（外しかたはP. 10参照）

3 **取り消したいワンタッチダイヤル**ボタンを２回押します。

３の操作を繰り返せば、続けて別の番号を取り消すことができます。

4 **登録**ボタンを押します。

5 **受話器**を置きます。

●すべてのワンタッチダイヤルを一度に取り消すことはできません。

今、かけた相手番号を登録するには
（セーブナンバーリダイヤル）

こんなときに便利

●しばらくしてからかけ直したいとき。

今かけた相手番号をカンタンに登録できます。

※この機能は22Bでは使用できません。

操作

登録のしかた

1 通話中に**登録**ボタンを押します。

登録ボタンは、パネルを取り外すと出てきます。（外しかたはP. 10参照）

2 **再呼／ポーズ**ボタンを押します。

3 ＊ ボタンを押します。

4 **ワンタッチダイヤル**ボタンを押します。

5 **登録**ボタンを押します。

●登録桁数は32桁までです。33桁以降の番号は無効です。

操作

発信のしかた

1 **受話器**を取ります。

かけたい相手が登録してある

2 **ワンタッチダイヤル**ボタンを押します。

●登録中、10秒間何もしないと、登録が解除されます。
●セーブナンバーリダイヤルを登録する以前に、ワンタッチダイヤルとして登録されているときは、その番号は消え、セーブナンバーリダイヤルが登録されます。
●セーブナンバーリダイヤルの取り消しは、「ワンタッチダイヤルボタンの取り消し （P. 17）」をご覧ください。

ワンタッチダイヤルや電話番号などを組み合わせて発信するには
（チェーンダイヤル）

こんなときに便利

●市外電話サービス（ＮＣＣ）のアクセス番号や暗証番号・相手番号をダイヤルするとき。

登録済みのワンタッチダイヤル、ダイヤルボタンを組み合わせて発信できます。

※この機能は22Bでは使用できません。

操作

市外電話サービス（ＮＣＣ）を利用する場合

（操作はワンタッチダイヤルに登録してある場合の例です。）

市外電話サービスアクセス番号とポーズ（再呼／ポーズボタン（ ）をワンタッチダイヤルに登録し（「0077 」、「0088 」など）、かけたい相手番号と組み合わせて発信します。

1 **受話器**を取ります。

「ツーツーツー」という内線発信音を確認して

2 局線の発信番号「たとえば０」を押します。

「ツー」という局線発信音を確認して

3 「0077 」「0088 」のどれかを登録してある**ワンタッチダイヤル**ボタンを押します。

かけたい相手番号が登録してある

4 **ワンタッチダイヤル**ボタンを押します。

5 相手が出たら話します。

回転ダイヤル回線でプッシュホンサービスを利用するには
（シグナルチェンジ）

こんなときに便利

- 銀行の預金残高照会・株式売買・航空券予約などのプッシュホンサービスを受けるとき。

回転ダイヤル回線をご使用の場合でもプッシュホンサービスを受けることができます。電話の基本料金は、回転ダイヤル回線のままです。

操作

受話器を取ります。

利用したいプッシュホンサービスの電話番号○……○を押します。

［✻］ボタンを押します。

以後、ダイヤルボタンを押すごとにプッシュホン信号（トーン信号）が発信されます。電話を切ると、もとの回転ダイヤル信号に戻ります。

プッシュホンサービスの内容に従い**ダイヤル**ボタンを押します。

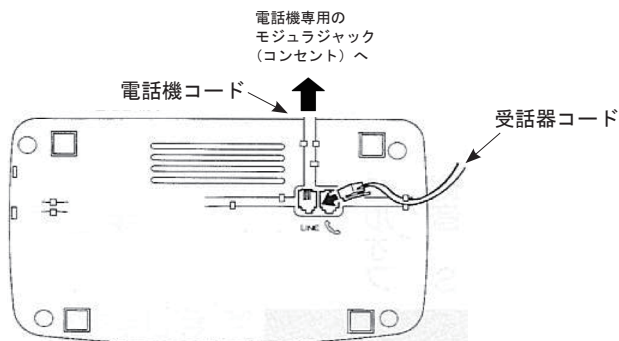
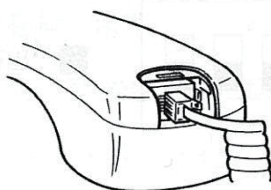
サービスを受けおわったら

受話器を置きます。

- この操作は、回転ダイヤル回線をご使用の方だけ必要です。
- シグナルチェンジでは利用できないサービスもありますので、ご確認のうえご使用ください。

工事の方へ

接続のしかた

図のように受話器コードと電話機コードを接続します。（初回の回線立ち上がりに時間がかかりますのでオフフック状態で接続してください）

①先の尖ったものを受話器の溝に差し込み、フタを外します。
②受話器コードを外し、交換します。
③交換作業が終わったらフタを元通りに戻します。

⚠注意　**受話器コード取換時には、手袋等をして交換してください。**

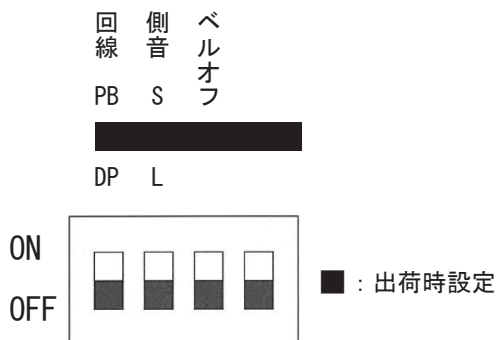
記名紙の使いかた

①先の尖ったものを記名紙押さえの溝に差し込み、記名紙押さえと記名紙を外します。

②記名紙に登録したワンタッチダイヤルの宛先を記入し、記名紙押さえと記名紙を元通りに戻します。

設定について

最初に設定していただきたいこと

電話機前面のパネルを外すと、(外しかたはP.10参照) 下図のような設定スイッチがあります。ご使用の状態に合わせて設定してください。

①回線（選択信号切り替え）スイッチ

ご使用の電話回線が、回転ダイヤル回線（20PPS）の場合は、このスイッチをDP側へ、プッシュホン回線の場合はPB側へ切り替えます。
（回転ダイヤル（10PPS）回線では使用できません）　（出荷時設定：DP）

②側音切り替えスイッチ

電話機から聞こえる自分の声が大きく感じられるときに切り替えます。
（出荷時設定：L）

③ベルオフスイッチ

呼出音を鳴らしたくないとき、ON側に切り替えます。
（出荷時設定：OFF）

設定について

その他の設定

設定内容にはそれぞれ２もしくは３種類（０、１、２）あります。ご都合に合わせて「０」または「１」、「２」を設定してください。

操作

1 **受話器**を取ります。

2 **登録**ボタンを押します。

登録ボタンは、パネルを取り外すと出てきます。（外しかたはP. 10参照）

3 # ボタンを押します。

フッキングポーズを１秒から２秒に切り替えたいとき

4 **ダイヤル**ボタンの 1 を押します。

5 **ダイヤル**ボタンの 1 を押します。

IPPF CS2、
RM10S GSM、GSM-L2は2秒に設定します。

0：ポーズ時間1秒
1：ポーズ時間2秒

ここで # 3 を押すと次（キータッチ音）の設定をすることができます。

6 **登録**ボタンを押します。

7 **受話器**を置きます。

●設定をするときは、電話回線に接続してから行ってください。
●登録中、10秒間何も操作しないと、登録が解除されます。
●設定中は交換機からの音（発信音など）が変化する場合もありますが、そのまま設定できます。

操作

ボタンを押したときの音（キータッチ音）を消したいとき

１～３の操作は、P. 23 と同じ操作です。

ダイヤルボタンの 3 を押します。

5 **ダイヤル**ボタンの 0 を押します。

0：キータッチ 音なし
1：キータッチ 音あり

ここで # 7 を押すと次（ニューコール操作）の設定をすることができます。

6 **登録**ボタンを押します。

7 **受話器**を置きます。

ニューコールの操作を使用したいとき

１～３の操作は、P. 23 と同じ操作です。

4 **ダイヤル**ボタンの 7 を押します。

5 **ダイヤル**ボタンの 1 または 2 を押します 。

0：ニューコール機能なし
1：ニューコール機能あり（約0.2秒以内の2回押下）
2：ニューコール機能あり（約2秒以内の2回押下）

ここで # 1 を押すと次（ポーズ時間）の設定をすることができます。

6 **登録**ボタンを押します。

7 **受話器**を置きます。

「故障？」こんなとき確認してください

“故障かな？”と思ったら次の内容を点検してください。

通話ができない。
受話器をとっても発信音が聞こえない。

●電話機をブランチでご使用のとき、別の電話機の受話器がはずれていませんか？
……………………………→**受話器を正しくかけ直してください。**

●受話器コードや電話機コードがはずれていませんか？
……………………………→**正しくしっかり差し込んでください。**
コードのモジュラプラグは深く差し込んでください。

相手につながらない。発信ができない。
違った相手にかかる。

●ご使用の電話回線と回線（選択信号切り替え）スイッチの設定は合っていますか？
……………………………→**電話回線の種類（回転ダイヤル回線・プッシュホン回線）を確認し、22ページをご覧になって正しく設定してください。**
（回転ダイヤル（10ＰＰＳ）回線ではご使用できません）

受話器から聞こえる自分の声が大きく感じられる。

●側音の設定は合っていますか？
……………………………→**側音の設定をし直してください。**

電話番号の登録ができない。

●登録中、番号を押す間隔を10秒以上あけていませんか？
……………………………→**登録操作をもう一度はじめから行ってください。**

●登録する番号が決められた桁数以上になっていませんか？
……………………………→**登録できる番号は、リダイヤル：64桁**
ワンタッチダイヤル：32桁です。

以上の確認が済んでもまだ電話機の具合が悪いときは、お買い求めの販売店にご相談ください。

本製品の故障、誤動作または不具合により、通話及び録音などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害は、当社としては補償いたしかねますので予めご了承ください。

セットを確認してください

■本体

iss phone 22B
(1 台)

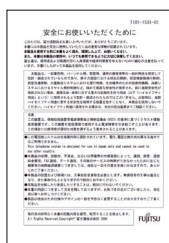
または

iss phone 22C
(1 台)

■添付品

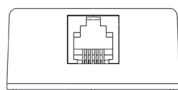
T101-1531-01

安全にお使いいただくために

FUJITSU

安全にお使いいただくために
(1 部)

保 証 書

保証書
(1 部)

電話機コード
(1 本)

ローゼット
(1 個)

●上記添付品以外に、記名紙、記名紙パネルが1枚ずつ付いています。
●セットに足りないものがあったり、本書に誤字・脱字があった場合などは、お買い上げになった販売店へご連絡ください。

別売品リスト

別売品 ―――――― １．記名紙セット FC170T81

２．受話器コード FC162A31WH

主な仕様

１．型　　　名	FC757B1電話機 FC757C1電話機
２．適用回線	回転ダイヤル（DP）回線（20PPS） プッシュホン（PB）回線
３．呼出方式	トーンリンガ、音色８段切替、音量８段切替
４．通話方式	スピーチIC、ダイナミック受話器（HAC対応） エレクトロレットマイク
５．回線接続形式	通信コネクタ（モジュラプラグ）
６．直流抵抗	281Ω／20mA（通話中）
７．使用電源	局電源
８．ポーズ時間	約3.6秒
９．フッキング時間	約0.6秒
10．寸　　法（mm）	約210（幅）×約128（奥行）×約68.5（高さ）
11．質　　量（g）	約510
12．環境条件	温度 －10 ～ 40℃、湿度 20 ～ 80%RH

アフターサービスについて

１．保証書

この製品には保証書が付いています。保証書はお買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より１年間です。

２．修理を依頼されるときは

●保証期間中は
　お買い上げの販売店へお申しつけください。保証書の記載内容に基づき修理させていただきます。
●保証期間が過ぎているときは
　お買い上げの販売店へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理させていただきます。
　〈連絡していただきたい内容〉
　(1) 型名：FC757B1電話機、FC757C1電話機
　(2) ご住所、お名前、お電話番号
　(3) お買い上げ日（保証書をご覧ください）
　(4) 故障内容、異常の状況（できるだけ詳しく）

３．補修用性能部品の最低保有期間

当社は電話機の補修用性能部品を製造打切り後７年間保有しています。
補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

４．ご使用中にふだんと変わった状態になりましたら

ただちに使用を中止してお買い上げの販売店へご相談してください。
●お客様ご自身で分解、修理はできません。修理には特殊な技術が必要です。
●また改造されますと修理をお引受できませんのでご注意ください。

注　意

本製品は、海外為替及び外国貿易管理法が定める規制貨物に該当します。
本製品は、国内でのご利用を前提としたものでありますので、日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可等必要な手続きをお取りください。

NOTICE

This product which is intended for use in Japan, is a controlled product regulated under the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Control Law. When you plan to export or take this product out of Japan, please obtain a permission, as required by the Law and related regulations, from the Japanese Government.